

第二章 本社及び支店の新改築

当社は、終戦以来、本社社屋ならびに各支店・工場の建物の整備に努力し、一応の目的を達してきたのであるが、日本経済の飛躍的な発展に伴い、本社に於ても、支店に於ても不便、手狭を感じるようになっていた。以下に記する第三丸善ビル、京都・名古屋両支店の新築にはそのような意味も含まれていた。

一 本社関係の各種建築

(一) 第三丸善ビル新築

現在中央区日本橋二丁目十六にある第三丸善ビルの位置には、もと本社の第一別館があった。それが昭和二十年三月十日の空襲で罹災したのは、応急修理を施して事務所及び倉庫に使用していたが、本店も倉庫も愈々狭くなってきたため、この位置に新しく建て直すことにした。

そこで、まず、昭和三十八年三月四日の臨時取締役会で、その解体工事を行うことを決議した。この決定に基づいて、同別館内で行っていた各種の業務を、本社内その他に臨時移動したが、商品発送業務のみは相当広い面積を必要とし、且つ輸送の便利を考えて、江東区塩崎町一等地に、四八〇万円を投じて三七一・二三平方メートルの建物を仮築して、そこに移した。そして解体業務終了とともに第三ビル新築に着手した。



第三丸善ビル

この工事の要領は次の通りである。

名称 第三丸善ビル

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

地下二階・地上十階・塔

屋二階

建築延面積 二、八九九・

四一平方メートル（八七

七・〇七坪）

着工 昭和三十八年八月五日

使用目的 自家用（事務室・倉

庫・発送）

施工 清水建設株式会社

そして工事は予定通り、昭和三十九年九月落成、二十一日に落成式を挙行した。

このビルには、各部の事務関係部門が移った。

(二) 青戸寮新築

当社は東京都葛飾区青戸町一丁目一九五番地所在の青戸旧万年筆工場跡敷地、一、九六四・六三平方メートル

(五九四・三坪)中、古屋重雄所有の土地六一五・八七平方メートル(一八五・〇三坪)を昭和三十六年八月二十一日から向う三十年間の契約で更めて賃借し、昭和三十七年九月二十九日の臨時取締役会において、同所に次のように社員寮を建設することを決定した。

丸善第一家族寮(十六戸)

丸善第一独身寮(二十室)

その構造は何れも鉄筋コンクリート造り地上四階建てで、昭和三十八年十月竣工した。

(三) その他の厚生施設について

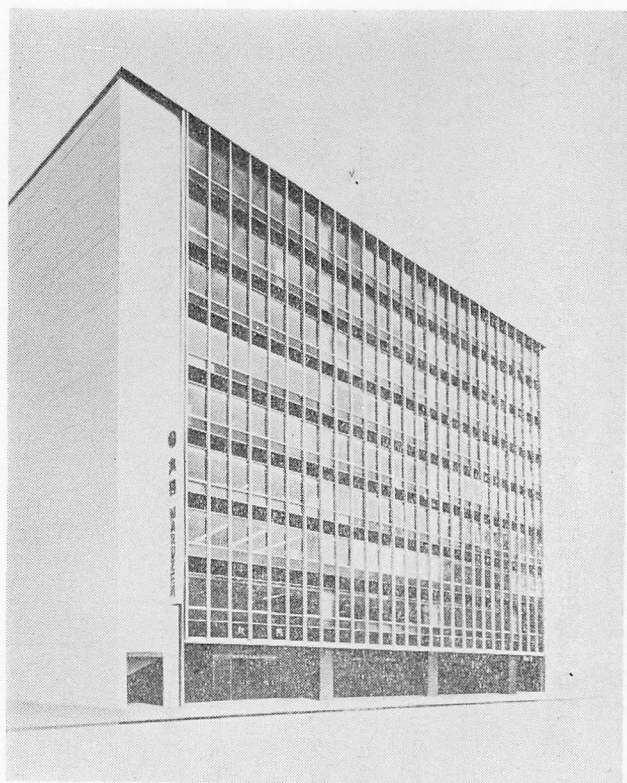
広島支店は、原子爆弾被害の傷跡顕著な焼跡に開設されたため、支店社員の住宅も思いのままにはならない事情にあった。そこで広島市佐伯郡五日市大字五日市東田五五四の一に土地を求め、鉄筋コンクリート三階建の家族寮を新築することにした。昭和三十八年九月三十日着工、三十九年三月十七日竣工した。建築延面積は六二二・三二平方メートルであった。(尚この建物は財団法人広島住宅公社に建設を依託したもので、施工は清水建設株式会社である。)

これより前、昭和三十四年六月、神戸市灘区六甲山町西谷山一、八七八の一〇〇所在の家屋を買収、健康保険組合六甲山保養所「山の家」を開設した。木造平屋建約八六平方メートル(二六・二坪)、六畳三部屋(三十八年一室増設)で、使用期間は五月から九月までである。

引続き昭和三十七年、長野県下高井郡山ノ内町大字平穂字東館七、一四九の十六に、健康保険組合「志賀高原山の家」を開設した。木造モルタル二階建一五五・一平方メートル(四六・九二坪)で、五部屋及びホールを通年開

設することにした。なお、右の二施設は、全社員およびその家族に開放されている。

二 支店および出張所の新築



丸善名古屋ビル

(一) 名古屋支店―丸善名古屋ビル―新築

名古屋支店は、戦災被害が軽微であったため昭和二十年一部修復のままでござしてきたが、同市の発展とともに支店も甚だ手狭になったので、その改築を昭和三十七年秋に決定した。

そこで、名古屋市中区南呉服町に六七五・四七四平方メートルの土地を賃借して、仮営業所（鉄骨二階建延面積五二二・三二六平方メートル）を新築し、昭和三十八年三月竣

工と同時にここに事務所を移し、一方において、同年八月から二カ年の契約で名古屋市中区大津町四丁目二十三番地のライオンビルの地下一階・地上一―三階、延九六八・五九平方メートル（二九三坪）を、ライオン不動産株式会社より借入れ、仮店舗として使用することとした。

以上の処置が終ったところで、昭和三十八年四月から支店新築の工を起し、二年六カ月を費やして昭和四十年九月竣工した。新社屋は安田信託銀行との共同建築によるもので丸善名古屋ビルと呼称、地下三階地上九階塔屋三階の鉄骨鉄筋コンクリート造、延面積二三、七三二・三六平方メートル（七、一七九・〇三坪）、そのうち当社専有面積一、八七五八・四七平方メートル（五、六七四・四二坪）総工費八億四千万円を投じた。工事は清水建設株式会社名古屋支店の施工によった。

(二) 姫路出張所店舗新築

昭和三十八年五月十日の臨時取締役会で姫路市中二階町二十七番地に、鉄筋コンクリート造二階建塔屋付、延面積三一・二七平方メートル（九四・一六坪）の社屋新築を決定した。着工は昭和三十八年九月、竣工は翌年二月で、清水建設株式会社神戸出張所の施工であった。

(三) 金沢出張所新築

昭和三十八年十一月二十五日の臨時取締役会で、この年八月一日購入登記を済ませていた金沢市石浦町五一の一の宅地一〇七・九六平方メートル（三二・六六坪）に、同出張所店舗を新築することを決定した。その要点は左の通りである。



姫路出張所



金沢出張所

構造 鉄筋コンクリート造 地下一階・地上四階
建築延面積 四八八・六九平方メートル（一四七・八三坪）
使用目的 店舗・事務室及び宿舎
昭和三十八年十二月着工、翌年三月竣工した。施工は清水建設株式会社北陸支店であった。